

令和6年度

6橋梁第2号  
市道平野又18号線 無名橋2補修工事

[ 魚沼市 平野又 地内 ]

<数量計算書>  
( 当初 )

魚沼市



## 5.2数量総括表

無名橋2

種 別			規 格	単位	数量	摘要
新設工	橋面	防護柵取替	ガードレール 設置	m	12.0	
		//	ガードレール 撤去	m	10.0	
		地覆断面修復	ポリマーセメントモルタル	m3	0.02	
	上部工	鋼材塗装	Rc-Ⅲ	m	21.4	
		床版断面修復	ポリマーセメントモルタル	m3	0.04	
	下部工	橋台断面修復	ポリマーセメントモルタル	m3	0.28	
		ひびわれ注入		m	3.0	
		ひびわれ充填		m	<del>2.7</del> <del>-5.7-</del>	
仮設工	鉛対策	安全対策		式	1	
		環境対策		式	1	
	足場工	吊り足場		m2	30.0	

### 5.3防護柵取替え工（無名橋2）

ガードレール取替え

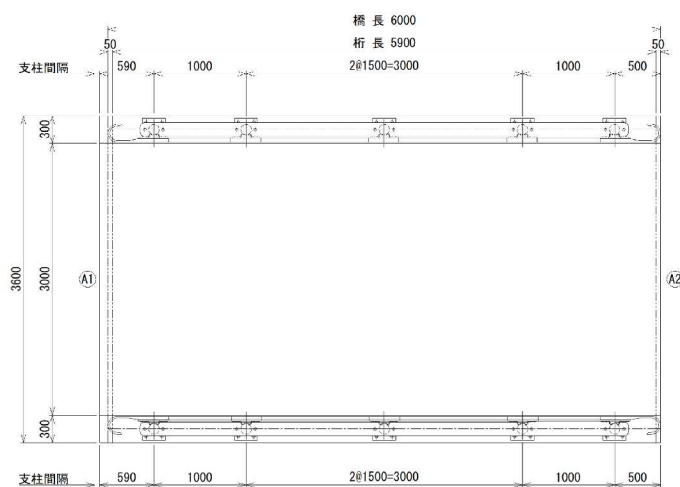
設置  
撤去

12.0 m  
10.0 m

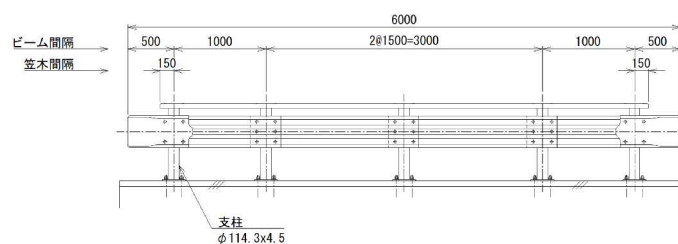
内訳表

Gr-C-2B-4-BP（トク） 柵高:850mm		
ベースプレート式支柱	10	本
ケミカルアンカーセット	40	本
1.5mビーム	4	枚
1mビーム	4	枚
袖ビーム	4	枚
1.5m笠木	4	本
1m笠木	4	本
袖笠木	4	ヶ
耐雪型ブラケット	10	ヶ
大ボルト	10	本
小ボルト	60	本

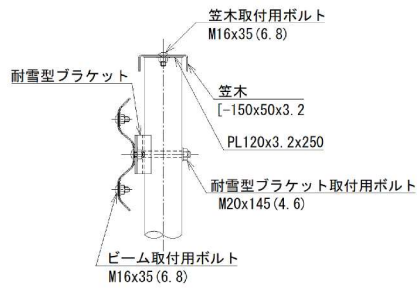
平面図 S=1/30



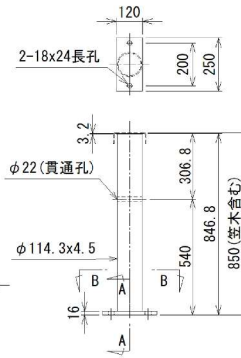
正面図 S=1/30



取付詳細図 S=1/10

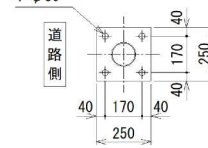


支柱 S=1/15

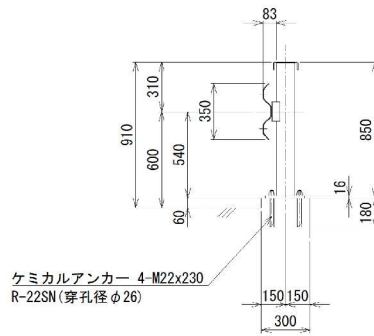


A-A 断面図

B-B 断面図

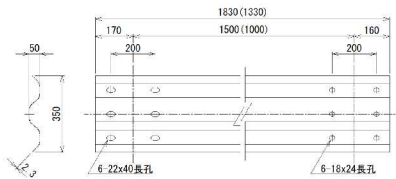


断面図 S=1/20

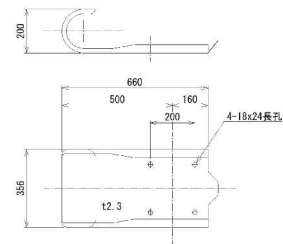


ケミカルアンカー 4-M22x230  
R-22SN (穿孔径  $\phi$  26)

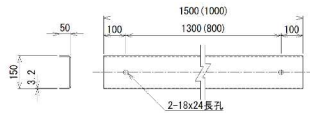
梁 S=1/10



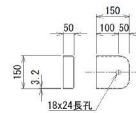
巻袖梁 S=1/10



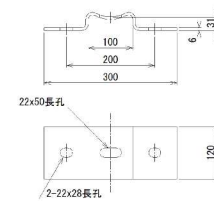
笠木 S=1/10



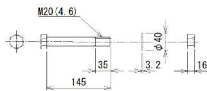
端部笠木 S=1/10



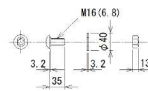
耐雪型ブラケット S=1/5



耐雪型ブラケット取付用ボルト S=1/5



笠木・梁取付用ボルト S=1/5



・ ひびわれ補修（低圧注入工法） 数量計算書

番号	箇所	向き	ひびわれ幅 A (mm)	ひびわれ 延長B (m)	ひびわれ深 C=A*200/1000 (mm)	注入体積 D=(A/1000) *B*C (m3)	備考
1	A1側壁	横	0.2	0.60	0.04	0.000005	
2	〃	〃	0.2	1.60	0.04	0.000013	
3	〃	〃	0.2	0.80	0.04	0.000006	
合 計				3.00	0.12	0.000024	

補修延べ延長 L= 3.0m (25m未満)

「注入材選定」 追従性 なし 珪砂樹脂 I 種

○注入材重量算出 W= 注入体積 D(m3) × 注入材比重 (kg/m3) × 収率

注入材料重量 (I 種) W= 0.000024m3 × 1,150kg/m3 × 1.15 = 0.03kg (収率15%含む)

○シール材重量算出 W= ひび割れ延長B (m) × シール材厚 (2mm想定) × シール材幅 (5cm想定) × シール材比重

シール材重量 W= 3.0m × 0.002 × 0.05 × 1,700kg/m3 = 0.51kg (収率含まず)

○低圧注入器具数量算出 N= 延長B (m) / 0.3 (m) ※300mmに1個

低圧注入器具数量 N= 3.00 / 0.3 = 10個

・ ひびわれ補修（充てん工法） 数量計算書

番号	箇所	向き	ひびわれ幅 (mm)	ひびわれ 延長A (m)	カット 断面積B (m <sup>2</sup> ) 0.02*0.02	充てん体積 C=A*B (m <sup>3</sup> )	備考
1	A1側壁	横	1.5	1.00	0.0004	0.00040	
2	〃	〃	1.0	1.10	0.0004	0.00044	
3	〃	〃	10.0	0.6	0.0004	0.00024	
合 計				2.70		0.00108	

補修延べ延長 L= 2.7m (20m未満)

○充てん材重量算出 W= 充てん体積 C(m<sup>3</sup>) × 充てん材比重 (kg/m<sup>3</sup>)

充てん材料重量 W= 0.00108m<sup>3</sup> × 2,000kg/m<sup>3</sup> = 2.16kg (収含まず)

※充填材料はポリマーセメントモルタル充てん工法用 (2,000kg/m<sup>3</sup>) とする。

・断面修復工（左官工法） 数量計算書

番号	箇所	向き	幅 A (m)	延長 B (m)	厚さ C (m) ※想定	補修体積 D=A*B*C (m3)	備考
①	床版	上	0.5	0.15	0.05	0.0038	
②	〃	〃	0.1	0.10	0.05	0.0005	
③	〃	〃	0.4	0.2	0.05	0.0040	
④	〃	〃	0.4	0.20	0.05	0.0040	
⑤	〃	〃	0.8	0.20	0.05	0.0080	
⑥	〃	〃	0.5	0.20	0.05	0.0050	
⑦	〃	〃	0.1	0.10	0.03	0.0003	
⑧	〃	〃	0.4	0.50	0.05	0.0100	
⑨	地覆	〃	4.0	0.05	0.05	0.0100	
⑩	〃	〃	4.0	0.05	0.05	0.0100	
①	下部工床板	〃	0.4	0.70	0.08	0.0224	
②	〃	〃	0.4	0.30	0.03	0.0036	
③	〃	〃	1.0	1.20	0.05	0.0600	
④	〃	〃	1.1	1.10	0.13	0.1573	
⑤	〃	〃	0.3	0.30	0.05	0.0045	
⑥	〃	〃	0.8	0.30	0.05	0.0120	
⑦	〃	〃	0.7	0.30	0.05	0.0105	
⑧	〃	〃	0.4	0.30	0.05	0.0060	
⑨	〃	〃	0.3	0.30	0.02	0.0018	
合 計						0.3337	

鉄筋ケレン・防錆処理の有無

あり

断面修復材体積 V= 0.3337 m3

(収含まず)

※修復材料はポリマーセメントモルタル（左官工法用）とする。



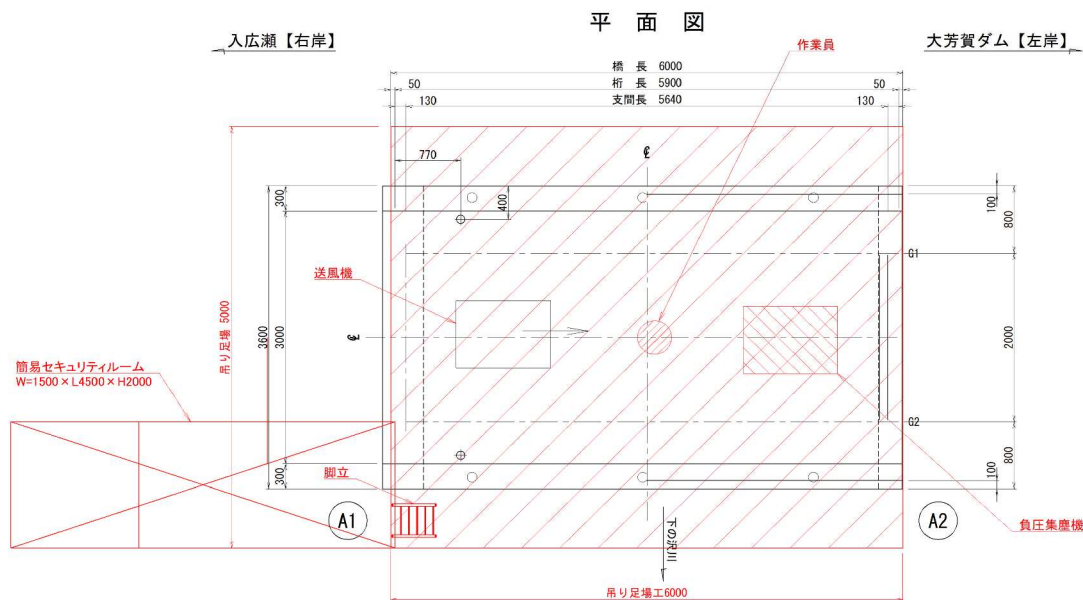
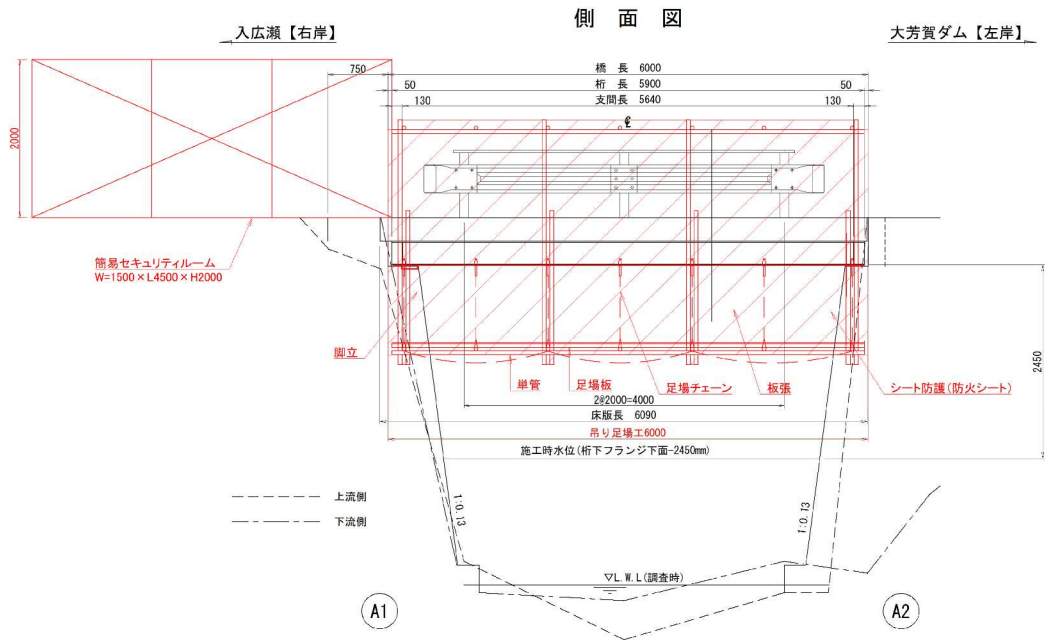
## 5.8足場工

### 5.8足場工 (無名橋2)

安全対策工  
環境対策工  
吊り足場工

$$5.0 \times 6.0 =$$

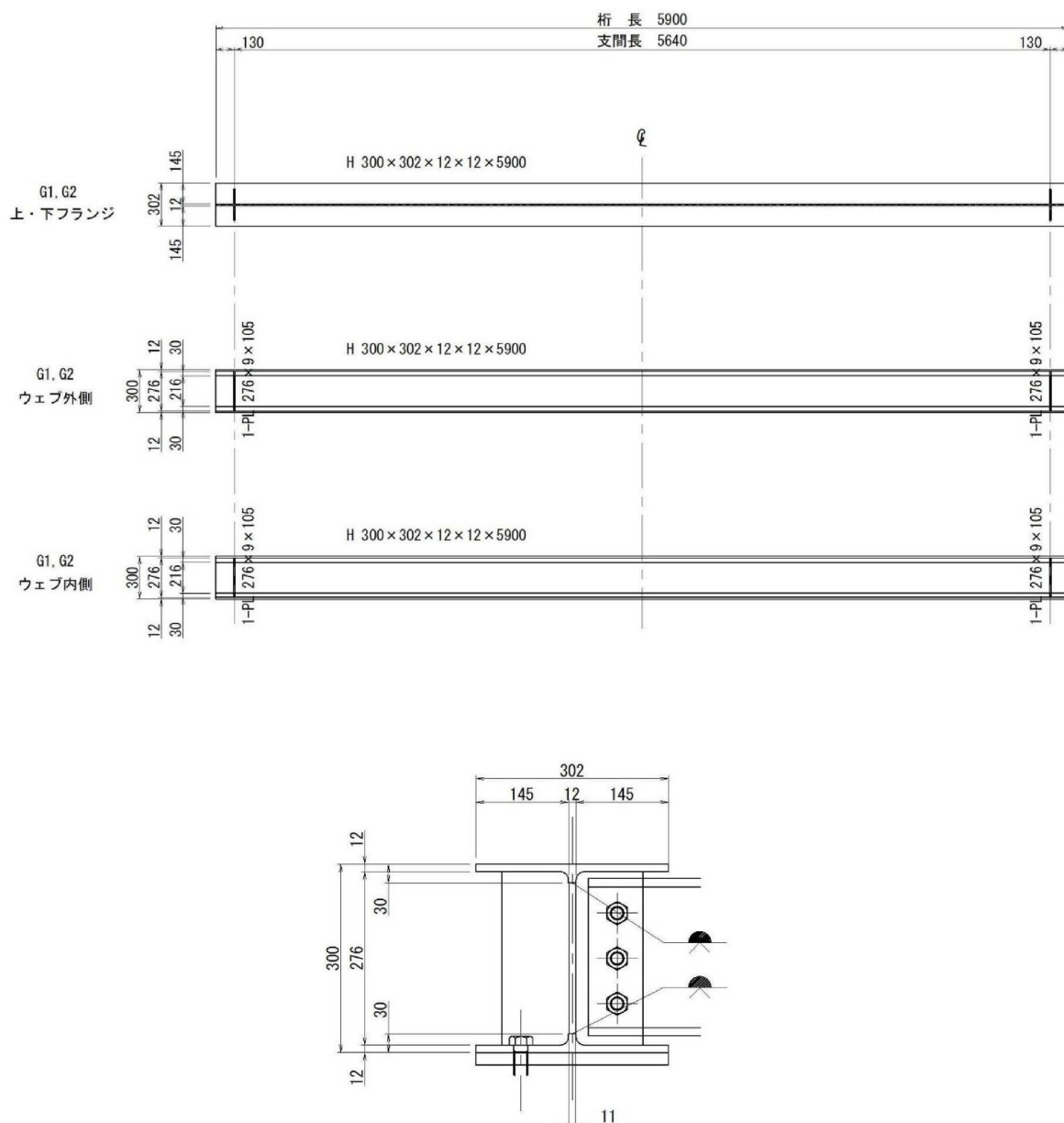
1 式  
1 式  
30.0 掛けm2



## 5. 5塗装塗替え工

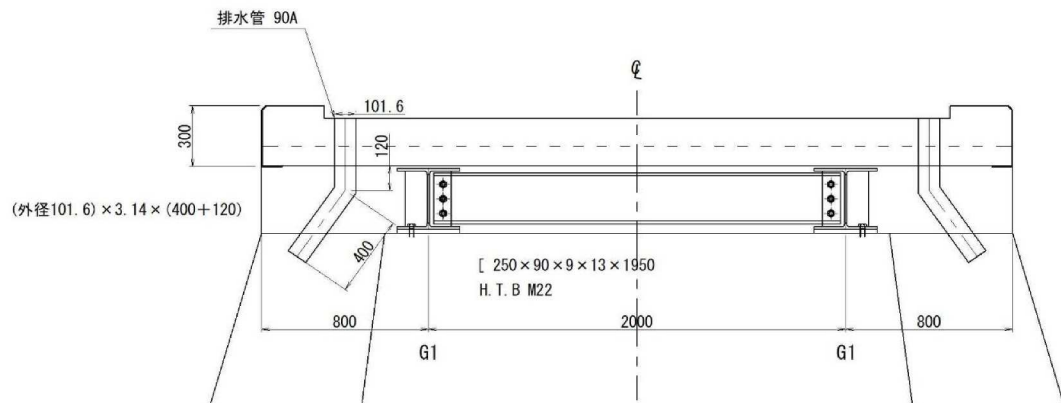
番号	部位 名称	断面	サイズ	長さ	面積 (m2)	面数	台数	面積 (m2)	備考
				(mm)					
主桁 (G1、G2)									
G1	U-flg	PL	302 x 12	5900	1.782	1	1	1.8	上部工 復元一 般図参 照
	Web	PL	276 x 12	5900	1.628	2	1	3.3	
	L-flg	PL	302 x 12	5900	1.782	2	1	3.6	
G2	U-flg	PL	302 x 12	5900	1.782	1	1	1.8	
	Web	PL	276 x 12	5900	1.628	2	1	3.3	
	L-flg	PL	302 x 12	5900	1.782	2	1	3.6	
G1	V-stiff	PL	105 x 9	276	0.029	2	4	0.2	
G2	V-stiff	PL	105 x 9	276	0.029	2	4	0.2	
								17.8	m2
径間数					1				
合計								17.8	m2

上部工図



番号	部位 名称	断面	サイズ	長さ	面積 (m2)	面数	台数	面積 (m2)	備考
				(mm)					
端部横桁									
	U-flg	[	90 x 13	1950	0.176	2	2	0.7	横桁図 参照
	Web	[	250 x 9	1950	0.488	2	2	2.0	
	L-flg	[	90 x 13	1950	0.176	2	2	0.7	
								3.4	m2
径間数					1				
合計								3.4	m2

端部横桁



番号	部位 名称	断面	サイズ	長さ	面積 (m2)	面数	台数	面積 (m2)	備考
				(mm)					
排水管									
	Dp	SGP	102 x 3.14	520	0.053	1	4	0.2	
								0.2	
径間数					1				m2
合計								0.2	m2

◆塗装数量総括表

部材名	塗装数量 (m2)
	第1径間
主桁	17.8
横桁	3.4
排水管	0.2
合計	21.4